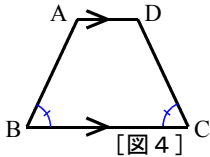
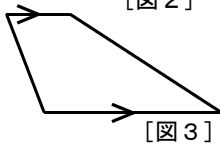
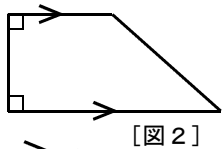
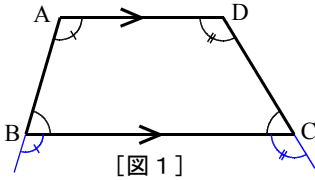


A 1 0

算数得意化プロジェクト



台形



四角形の4本の辺のうち、2本が平行になっている図形を**台形**といいます。このとき右の〔図1〕のように台形では

$$\text{角}A + \text{角}B = 180 \text{ (度)}$$

$$\text{角}C + \text{角}D = 180 \text{ (度)}$$

になっています。

〔図2〕、〔図3〕、〔図4〕のいずれも台形ですが、特に〔図4〕のように、

$$\text{角}B = \text{角}C$$

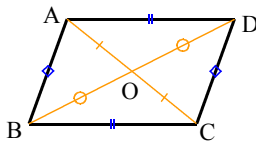
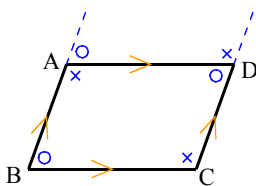
(このとき自動的に、角A = 角Dになりますが) になっているとき、この台形を**等脚台形**といいます。

A 1 1

算数得意化プロジェクト



平行四辺形



左の四角形のように辺ABとDC、辺ADとBCが平行になっているときこの四角形を**平行四辺形**といいます。

右の図の**平行四辺形**では、

$$\text{角}A = \text{角}C、\text{角}B = \text{角}D$$

$$\text{角}A + \text{角}B = \text{角}C + \text{角}D = 180 \text{ (度)}$$

$$\text{角}A + \text{角}D = \text{角}B + \text{角}C = 180 \text{ (度)}$$

になります。

また辺の長さも、

$$AB = DC、AD = BC$$

対角線の長さも

$$AO = CO、BO = DO$$

になります。